

事業番号

2023 - 府 - 新23 - 0002

令和5年度行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	沖縄国際交流体験促進事業			担当部局	沖縄振興局	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了 (予定)年度	令和7年度	担当課室	総務課事業振興室	室長 占部 亮	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	沖縄振興特別措置法第76条第2項			関係する 計画、通知等	沖縄振興基本方針(令和4年5月10日内閣総理大臣決定)		
政策	9.沖縄政策			主要経費	その他の事項経費		
施策	9.沖縄振興に関する施策の推進						
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyouka/r4bunseki/r4bunseki-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	沖縄県内の学校機関の教育活動と連携して行われる、沖縄在住の外国人家庭へ滞在するホームステイや日帰り交流といった国際交流体験事業の経費の一部を補助することにより、県内の児童・生徒の国際交流体験の取組を促進し、県内児童・生徒の国際理解及び外国語習得への関心の高まりを目指し、ひいては沖縄における卓越した外国語能力及び国際理解力を持つ人材の増加に寄与する。						
現状・課題 (5行程度以内)	沖縄県は、日本本土と東アジア・東南アジア地域の中心に位置し、これらの地域との「結節点」として観光・経済交流等の様々な国際交流が行われている。一方で、文部科学省の調査によると、沖縄県の学生の英語水準は中学生、高校生とも全国の中位程度に留まっている。令和4年5月に策定された沖縄振興基本方針では、沖縄振興の目指す方向として「外国語教育の推進や(中略)人・モノ・情報・文化等の交流拠点の形成を目指す」と位置付けられた。また、令和4年5月に沖縄県が策定した「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」でも、「グローバルな現代社会においては、(中略)多様な文化、価値観を正しく理解して、相手を尊重する国際理解教育の推進に努めます」としており、県も児童・生徒たちの国際交流に重点を置いている。						
事業概要 (5行程度以内)	県内の学校機関の教育活動の一環として行われる、沖縄在住の外国人家庭へ滞在するホームステイや日帰り交流といった国際交流体験事業の経費の一部を助成することにより、県内の児童・生徒の国際交流体験の取組を促進する。 対象者：県内の小学校3年生～高校3年生 実施主体：県内で事業活動を行う国際交流体験事業者 補助率：国際交流体験事業に要する経費の5/10相当額						
事業概要URL							
実施方法	補助						
補助率等	5/10						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	35.5	126.8
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	35.5	126.8
執行額(G)	-	-	-	-	-		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	沖縄政策費					
	(目)	沖縄雇用・促進人材育成等推進事業費補助金	35.3	126.6			
		職員旅費	0.2	0.2			
		その他	0	0			
	計(A)	35.5	126.8				

活動内容① (アクティビティ)	沖縄在住の外国人家庭へ滞在するホームステイや日帰り交流といった国際交流体験事業につき、参加者が負担する国際交流体験事業の経費の一部を補助金として助成する。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	国際交流体験事業の参加者数の増加	国際交流体験事業への参加者数	活動実績	人	-	-	-	-	-
			当初見込み	人	-	-	-	2,000	2,000
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 国際交流体験事業により、参加者が外国語学習や国際交流への関心が高まったとする児童・生徒の割合を成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
	外国語学習や国際交流に関心を持つ児童・生徒の増加	国際交流体験事業の参加者のうち、外国語学習や国際交流への関心が高まったとする児童・生徒の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	60	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国際交流体験事業の参加者へのアンケート結果								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
	事業実施期間が短期間であることから、本期間においては、ホームステイや日帰り交流を実施することによる児童・生徒の国際理解及び外国語習得への関心の高まりを目指すことを主眼として、その割合をアウトカムとして設定した。								
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等	名称								
	URL								
	該当箇所								
事業所管部局による点検・改善									
点検結果					目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度実施)				
改善の 方向性									

外部有識者の所見	
-	
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	
現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努めるべき。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
現状通り	事業の有効性・効率性・成果の検証を行い、予算の効率的執行に努める。
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ
	-
	上記への対応状況
	-
	その他の指摘事項
	-
	上記への対応状況
	-
備考	
-	
関連する過去のレビューシートの事業番号	
平成23年度	-
平成24年度	-
平成25年度	-
平成26年度	-
平成27年度	-
平成28年度	-
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度	
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	2022 府 新23 0004

内閣府
35.5百万円

補助金の交付等
・職員旅費 0.2百万円



【補助金等交付（国際交流体験事業に関する経費の2分の1相当）】

民間事業者等
35.3百万円

国際交流体験事業（ホームステイ・日帰り交流）の実施

資金の流れ
（資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する）
（単位：百万円）